

### 第3回秋田市マイタウン・バス南部線 河辺地域運行協議会議事要旨

開催の日時 平成22年12月11日(土) 午前10時35分～11時35分

開催の場所 秋田市河辺地域活動センター 第1会議室

委員数 15名

出席委員 8名

議事 運行内容について

事務局 1 開会

2 議事

会長 挨拶  
議事に入る。運行内容について事務局から説明願う。

事務局 (資料に沿って説明)

会長 (路線延伸を想定した場合の提案事項について) 意見はないか。

委員 秋田赤十字病院までの延伸は、河辺地域全体の要望なのか。  
Bコースの利用者からは、特に要望が強い。

委員 Aコースも同様に要望があるし、便数など同じ問題を抱えている。

委員 Bコースの昼便が欲しいとの要望が多い。

委員 電車を利用して昼頃和田駅に着いても、岩見三内方面へのバスがなく、家に帰れない。  
また、Bコースの利用者は路線バスの太平線を利用する人が多い。

事務局 太平線についてはその要望があったので、現在も接続させている。

委員 私は戸島地区に住んでいるが、通院のための便が少ない。

委員	秋田赤十字病院での診察は9時からが多く、大体12時くらいまでで終わる。朝は上り②便を延伸すればちょうどよいが、現行のダイヤでは帰りの便がない。下り④便をもう少し早くすればよいのではないか。
事務局	12時30分頃、秋田赤十字病院発ということか。
委員	12時30分～13時頃発でよいのではないか。
事務局	診察は12時くらいで終わると考えてよいか。
委員	12時30分までには終わると思う。
委員	下り④便を早めるとなれば、乗務員の休憩時間等も考慮すると、③便を削らなければいけない可能性がある。
会長	今日、岩見三内からその③便に乗ってきたが、10数人利用していた。岩見三内から乗車した人達は和田駅で降り、和田駅から乗車してきた若い人達は御所野へ行ったようだ。
委員	先ほど話したBコースの昼便の件だが、利用実績では最終の⑥便の利用者が運行開始から1年間で3人しかいないので、その便を削り、12時台を運行させたい。
委員	秋田赤十字病院へ通院するための新都市交通広場での路線バスとの接続の問題は、マイタウン・バスの路線延伸で解消される。和田駅での電車との接続を考慮しなければならない。 秋田赤十字病院から新都市交通広場間は、雄和コースの便を利用する方法もあるのではないか。
会長	私も秋田赤十字病院へ通院することがあるが、新都市交通広場～秋田赤十字病院間は路線バスもあり、また、本数も多いので待ち時間を感じることもなく、便利である。ただ、体が不自由な方のことを考えると乗り継ぎはないほうがよい。
事務局	Bコースの昼便の件は、早期に実現可能だが、どうか。
会長	私も岩見三内の人間なので、ぜひお願いしたい。 待合室等で待っている人を見かけるが、気の毒である。
委員	では、Aコースの下り③便の岩見三内11時21分着と、路線バスの太

平線 1 1 時 4 8 分着に合わせた運行としたい。

会 長 秋田赤十字病院からの帰りの便を下り④便にして、③便を削るか。

委 員 まだ組んでみないと何とも言えない。往復の距離を短くし、和田駅で折り返す便を作るという方法もある。

会 長 電車との接続はどうするか。

事 務 局 電車の上りと下りがあるが、秋田駅方面の時刻に合わせる方向でよいか。

委 員 西仙北高校や大曲工業高校に通学している生徒がいるので、せめて朝の通学時間帯だけは、上下両方に合わせてほしい。  
以前、バス時間と合わず、不登校になった生徒もいた。

事 務 局 幸い朝の通学時間帯の電車は、上下とも同時刻に和田駅を発車することになっており、現在もそれに合わせている。

委 員 帰りは、和田駅内でバスを待つなり、家族が迎えるという方法もあるので、その他は秋田駅方面の電車時間帯に合わせることでよいと思う。

会 長 本日のまとめとして、  
①秋田赤十字病院へ延伸する便は、行きが病院着が9時頃、帰りは病院発12時30分頃とする。  
②Bコースの昼便を運行する。  
③朝の通学時間帯は上下両方、それ以外の時間帯は上りは秋田方面からの電車、下りは秋田方面へ向かう電車に合わせる。  
以上でよいか。

委 員 一 同 (異議なし)

会 長 以上で本日の議事は終了する。

事 務 局 これを踏まえて、次回資料を提示する。  
Bコースの時刻の変更についても、手続きを進める。

—協議会終了—